

# 蟻

蠢く息をする束

どれだけの速さをもって出逢うの？

今からは二人

試されるような

この黄砂を蹴って

どこまでも行けよ

つがいの鳩が

今、放たれる

小さな積み重ねに

甘えてしまうでしょう

何気ない素振りに救われて

あなたが居ることに

胸を熱くするでしょう

上手く伝えられないままにして

差し出す 手が届く距離

保って 離れないのさ

このまま..

後は天の君が決める

どんなことになっても許すだけ..

今からは二人

向かう先には

落ち入る太陽が

暗くても指の先絡ませて

空を仰げ

同じ星を見ては

涙を流すでしょう

震える相手をおもうでしょう

自分のいたらなさ

苛立つことでしょう

指の匂いに蟻が集るよ

ラララ..